令和５年度　越谷市登録手話通訳者認定試験　筆記試験問題

Ⅰ　次の文章は越谷市の状況について書かれています。(　　)にあてはまる番号を[　　]から選んで書きなさい。

１．越谷市では、２０１８年（平成３０年）３月に（　１　）が施行されました。これに基づき手話に関する施策の推進を策定しており、手話理解促進講演会の開催、広報こしがやへの手話紹介コーナー『ちょこっと手話』の掲載や手話啓発小冊子『(　２　)』の作成・配布など、手話に関する理解や周知を図っています。

２．１９８１年（昭和５６年）国際障害者年を契機に、障害者の日記念事業「(　３　)」を毎年開催しています。障がいのある人も、分け隔てられることなく、ともに育ち、ともに働き、ともに暮らすことのできる地域社会を目指し、テーマを『こころ豊かな　(　４　)』としています。

３．越谷市では、２００９年（平成２１年）に制定した越谷市自治基本条例に基づき、市の基本的な施策に関する計画、方針、指針や基本的な理念を定めた条例などを制定する際には、あらかじめ計画案を公表し、市民の意見を聞くこととしています。この意見公募を（　５　）と言います。

①手話いいね！　②ふれあいまつり　③意見交換会　④福祉のまちづくり ⑤手話言語法　⑥パブリックコメント　⑦地域共生社会　⑧手話言語条例 ⑨ふれあいの日　⑩手話パンフレット

Ⅱ　次の文章を読んで、内容が正しい場合は〇、誤っている場合は×を書きなさい。

１．音は、空気の振動で伝わります。中耳までの音を振動で伝える部分などに病変が起こり、振動がうまく伝わらない難聴を「伝音性難聴」と呼びます。内耳以降に損傷などがあり脳に音として伝わらない場合は「感音性難聴」と呼び、どちらにも障害が起こる場合は「混合性難聴」といいます。

２．電話リレーサービスとは、聴覚や発話に困難のあるきこえない人ときこえる人との会話を通訳オペレーターが「手話」または「文字」と「音声」を通訳する公共インフラサービスです。２４時間・３６５日、双方向での利用、緊急通報機関への連絡も可能で、一般財団法人日本財団電話リレーサービスの基金で運用されています。

３．２０１１年（平成２３）年に制定された障害者総合支援法のなかに「言語（手話を含む）」とあり、手話言語が音声言語と対等な言語であることが、法律に初めて明記されました。

４．聴覚障がい者一人ひとりが持つ力を把握し、周囲に理解と配慮を推し進める援助をソーシャルワークと言います。手話通訳者は、手話通訳行為を通して聴覚障がい者やきこえる人との間で起こっているコミュニケーションの問題や特性を把握し、両者が対等な関係でコミュニケーションができるよう援助します。

５．　１９９７年（平成９年）に「手話通訳士倫理綱領」が制定されました。このなかでは、前文と基本的人権の尊重、聴覚障がい者の主体的社会参加の支援、業務改善・向上への努力、守秘義務など６つの条文が記されています。

Ⅲ　下記の問いに答えなさい。

①略称の正式名称を書きなさい。

１．越谷のろう協
２．越谷の派遣事務所
３．厚労省
４．埼通研

②正式名称の略称を書きなさい。

５．障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律

Ⅳ　次の文章を読んで、（　　）にあてはまる番号を［　　］から選んで書きなさい。

越谷市コミュニケーション支援事業は、（　１　）に規定されている（　２　）の（　３　）に位置付けられています。これは、（　４　）が（　５　）に委託し、実施しています。

①コミュニケーション支援事業　②障害者総合支援法　③越谷市　④自立支援給付 ⑤越谷市障害者福祉センターこばと館　⑥越谷市社会福祉協議会　⑦地域生活支援事業 ⑧埼玉県　⑨意思疎通支援事業　⑩身体障害者福祉法

Ｖ　下記の事例を読んで、問題点とそれに対してあなたがこの現場に登録手話通訳者として派遣されたら、どのように対応するか簡潔に書きなさい。

＜場　面＞

・手話通訳者派遣の申請者は、ろう者Ａさんです。
・Ａさんは、今年度初めて自治会の役員を引き受け、私は初回の役員会に派遣されました。
・自治会でも聞こえない方が役員になるのは初めてです。
・待ち合わせ場所でＡさんとお会いすると、初めて役員になったこと、役員は何をすれば良いのか分からないこと、地域には知り合いがいないことなど、通訳者に不安を話してきました。さらに、役員をやったことがあるか尋ねられたので、自分の自治会での経験や仕事内容などを簡単に話しました。役員会では、広報や会計などの各担当の仕事について説明後すぐに担当決めとなり、自分のやりたいものに挙手することになりました。Ａさんが「何をやったらよいのか分からないから、どうしよう」と困った顔で尋ねてきたので、パソコンの得意なＡさんには広報が合っていると思い勧めました。Ａさんも自宅でできる仕事だし、パソコンならできると安心したようで、無事に広報に手を挙げ、１年間安心して役員をできると、その後は明るい顔で役員会に参加していました。

令和５年度　登録手話通訳者認定試験
筆記試験解答

受験 No.　　氏名　　点（　合　・　否　）

	1	2	3	4	5	点数
Ⅰ	⑧	①	⑨	④	⑥	2点×5
Ⅱ	○	×	×	○	×	2点×5
Ⅲ	越谷市聴覚障害者協会	越谷市手話通訳者・要約筆記者派遣事務所	厚生労働省	埼玉県手話通訳問題研究会	障害者総合支援法	2点×5
Ⅳ	②	⑦	⑨	③	⑥	2点×5
Ⅴ	〈問題点〉 Ａさんから尋ねられたとき、手話通訳者から自分の経験を積極的に話したり、個人的な価値観から広報をすすめたこと					5点
	〈対　応〉 手話通訳者はあくまで通訳として派遣されているため、Ａさんの不安について他の役員から直接説明をしてもらえるよう通訳する。Ａさんの思いを受け止めたうえで、手話通訳者としてできる支援を行う。					5点